

基金情報

No. 17

平成15年8月号

発行：東日本硝子業厚生年金基金

〒130-0026 東京都墨田区両国4丁目36番6号 ガラス会館3階 TEL03-3633-6445
ホームページ http://www.jade.dti.ne.jp/~glskkn/

平成15年7月・主要事業概況

事項	7月末数	対前月増減数	事項	7月末数(累計)	
事業所数(件)	269	0	年金掛金	調定額(円) 344,034,848 収納額(円) 340,658,158	
加入員数(人)	男子	6,390	-43	収納率	99.0%
	女子	2,689	-29	事務費掛金調定額(円)	25,401,904
	計	9,079	-72	資産運用	信託資産額 2,683,341万円 修正総合利回り 6.84% ベンチマーク差 -0.64%
平均標準給与月額(円)	男子 348,398 女子 224,815 計 311,796	1,997 1,691 2,010	受給者数(人)	5,114	4,521
平均年金額(円)	422,707	545	慶弔金	31件	49万円
			保養所利用者数	1,660人	

速報

夏の賞与 1.3カ月分

平成15年度から賞与に対しても掛金や給付の対象とする総報酬制が実施となりました。

賞与の支給については、各事業主の方が賞与の支給をしたつど基金や社会保険事務所などにその届出をすることとなっています。

— 3分の2の事業所が届出 —

平成15年7月末までに賞与の支給に関して届出のあった事業所数は210件で、このうち、賞与を支給した事業所数は、当基金の事業所数の60.5%にあたる延べ162件となっています。

残りの48件の事業所については、賞与の支給を見合わせた届出でした。

— 支給率：8割 —

平成15年7月末までに賞与が支給された加入員数は、延べ7,247人となっており、加入員総数の79.8%にあたっています。

賞与が支給された加入員のうち、99.5%の者が6月と7月に支給されていますが、そのうちの3分の2の者は7月支給となっており、7月支給者の数は、加入員総数の約半数となっています。

平成15年8月25日ガラス会館において第38回年金資産運用委員会及び第26回財政運営委員会が開催されました。

委員会 開催状況

当日の委員会では、平成14年度決算関係、給付設計の見直し、資産運用に関する規程の変更などについて審議がされました。

審議結果概要は、次のとおりです。

□□平成14年度決算を承認□□

平成14年度の決算については、年金経理、業務会計、福祉施設会計とも提案どおりにて承認されました。

また、年金経理における当年度の不足金40億3,404万円を翌年度に繰り越すことも承認されています。

これらは、9月開催の理事会、代議委員会に諮る運びとなります。

△△掛金引上げ・給付減額? △△

給付設計の見直しについては、平成14年度決算での不足金の発生などによって、年金資産の積立水準が更に大きく下回り、掛金の引上げを余儀なくされたため、給付減額による検討がされました。

平成14年度不足金の解消に要する特別掛金率は10%と見込まれ、加入員の給付を50%減額した場合でも、3%に抑制されるに止まり、この場合でも加入員の同意要件を抱えています。

また受給者の減額は、一時金の支給による新たな不足金が発生するなど、代議委員会での審議・方向づけとされました。

◎◎許容乖離幅を拡大◎◎

資産運用に関する規程で定めている許容乖離幅(資産配分割合の許容範囲)を2%から4%に拡大することとし、理事会の承認を得ることとなりました。

これは、金融市場の動向に対応した運用を図ることとしたもので、3月の代議員会で議決された基本的な政策アセット・アロケーション(資産配分)は変更せず、許容乖離幅をもって資産配分割合を調整しようとするものです。

この調整は、年金資産運用委員会の決定に基づき、ガイドラインの受託機関提示が考えられています。

9月の事業予定

5/理事会(平成14年度決算等の審議)

12/第80回代議員会(平成14年度決算等の審議)

30/平成14年度決算書の厚生労働大臣あて提出

厚生労働省が「年金対話集会」を開催!

厚生労働省は、平成16年の年金改革に向けて、幅広く国民の意見を聞く「年金対話集会」を開催することとしています。

対話集会は、平成15年9月6日(土)に千代田区霞ヶ関の虎ノ門ホールにおいて開催されます。

プログラムは、厚生労働省年金局から年金制度の現状と年金改革の課題についての説明に続き、社会保障審議会年金部会の宮島部会長ほか数名の委員による意見発表や参加者との対話などが予定されています。

《 平均支給額：404,144円 》

平成15年7月までに支給された賞与の総額は、30億400万円強に及んでいますが、このうち、基金の掛金や給付の対象となる額は、29億2,884万円となっています。

この対象支給総額の加入員1人あたり額は、404,144円となっており、基金の平均給与月額に1.29にあたります。

なお、その賞与支給月数を加入員総数に置き換えますと、1.035月分にあたり、単純にみる年間賞与支給月数は、2.07月となります。

8/29 監事監査が実施されました

平成15年8月29日東日本硝子業厚生年金基金において、小泉・村松両監事による基金の総合監査が行われました。

総合監査は、平成14年度の決算のほか、事業の運営・実施状況や経理処理など事業全般にわたり、関係書類や経理帳簿・帳票などの検査が行われました。

また、当日は、毎月/monthの月例監査である平成15年7月実施分の掛金や経理関係についても併せて実施されています。

監査の結果は、いずれも適正とされました。

8/25 第2回・運営に関する報告会開催

平成15年8月25日ガラス会館において第2回厚生年金基金の運営に関する報告会が開催されました。

参加者は24名の方々でした。

当日は、基金財政のしくみⅡ(講師:りそな信託銀行・東京年金数理人室長の原田末彦氏)と金利動向と経済見通し(講師:大和総研・シニアコンサルタントの白石浩一氏)による講演が行われました。

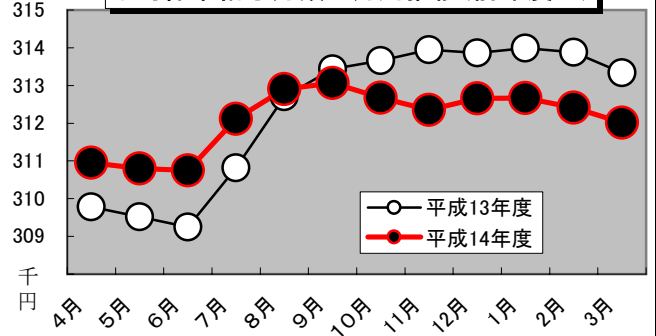
事業運営 — 適用状況 (2・平均標準給与)—

当基金の全加入員の平均標準給与月額、ここ数年来、減少傾向にあります。平成14年度末における額は、前年度末比▲1,326円の312,013円と大きく落ち込んでいます。

これを男女別にみますと、男子▲2,446円、女子1,871円と、男子における落ち込みによるものです。この要因は、加入員の構成要素の変化もありますが、給与の抑制影響が大きいものと想われます。

特に、平成14年度の傾向として、例年、定期昇給を反映して、8・9・10月に上昇するものが、逆に下降しています。これは、給与の減額傾向が更に強まっているものと窺えます。

平均標準給与月額の月別推移(前年度比)



年金資産運用状況 — 国内債券マイナス運用 —

年金資産の運用状況は、下落傾向にあった株式が、昨年度末以降の外国株式に続き、国内株式も今年度に入り高騰を続け、3年連続した運用利回りのマイナス状態からようやく脱却し、予定利率を上回る見通しとなりました。

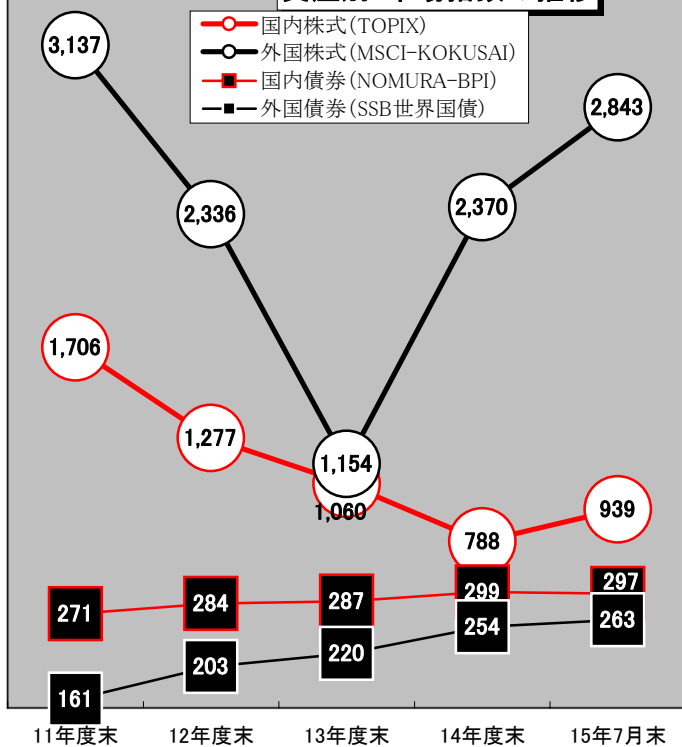
しかし、国内債券は、金利の上昇などをもうけ、下落傾向となり、その運用利回りはマイナスに転じ、全体の運用利回りを薄めています。国内債券の資産構成割合の高い当基金では、その薄める度合はより大きくなものとなっています。

りそな基金 代行返上!

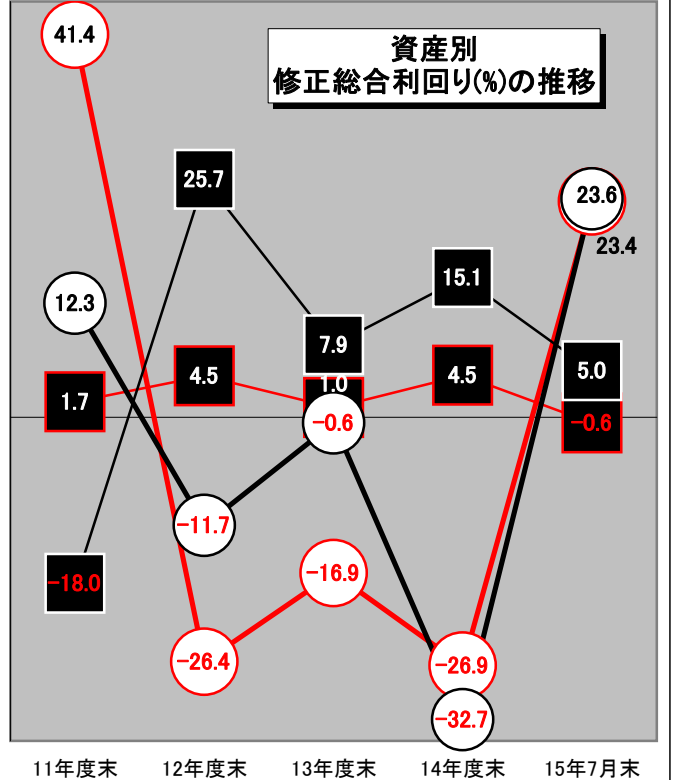
大手銀行を含め、厚生年金基金の代行返上は、今年度も既に128件(8月13日現在)に及び、累計では600件を超えるにいたりしました。

このような中、りそな銀行の厚生年金基金においても、8月末に代行返上の認可を受けた模様です。

資産別・市場指数の推移



資産別修正総合利回り(%)の推移



東京都総合厚生年金基金協議会(東総基) 平成14年度の財政検証結果をまとめる

代行型基金の9割強が継続基準割れ

東総基は、先般、東京都に所在する総合型の厚生年金基金における平成14年度の財政検証結果を取りまとめました。

これによりますと、184基金のうち、継続基準値を超えた基金は7基金で残りの177基金(96.2%)は基準を満たしていないという結果となっています。

21の代行型基金では、平均積立水準が75.5%で、全ての基金が基準を満たしていない状況です。継続基準には、基準値を満たしていない場合でも、その不足額が一定の範囲(許容繰越不足金)であれば基準を満たしたものとみなされていますが、代行型基金で不足金がある範囲であった基金は2基金のみとなっています。

非継続基準では、更に厳しく21の代行型基金の全てが基準を割り(最低積立基準額)、平均積立水準値は53.8%の状況です。

《 許容乖離幅 》

許容乖離幅とは、通常「許容乖離率」といい、資産の時価額と財政運営上の評価額とが乖離しても許容される幅であり、基金が許容乖離率として定めています。

当基金では、資産配分において、りそな信託銀行の各資産に2%の許容乖離幅を設定しています。

時価の変動により、各

資産の構成割合が崩れても、許容乖離幅の範囲であればよいこととなり、範囲を超えた場合は修正することになります。

《 リバランス 》

りそなの許容乖離幅は、全体の資産構成割合(政策アセット・ミックス)のリバランス(崩れた構成割合を元に戻す)のためのものでもあります。

考
金
月
言